

関東がん専門医療人養成プログラム

このプログラムは、多様な新ニーズに対応するがん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プラン 関東がん専門医療人養成拠点事業教育コースの一環として開講するものである。履修者は、あらかじめ所属研究室の責任者の承諾を受けた上で、事前に所定の手続き(注1)を行うこと。その上で以下の必修科目、選択必修科目及び選択科目を合わせて30単位以上履修すること。本プログラムにおいては、以下の3コースを新設する。履修者は、自身の研究テーマに応じた①～③のいずれかのコースに所属するものとする:①がんゲノム医療人養成大学院コース、②小児・AYA・希少がん専門医療人養成大学院コース、③包括的ライフステージサポート医療人養成大学院コース

【履修方法・修了要件】

科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数	
専門基礎科目	専攻共通科目	必修「イニシエーションセミナー」(1単位) (生命システム医学専攻に所属する学生のみ必修)	11～12	}
		必修「医学研究概論」(1単位)		
		必修「医学セミナー」(3単位)		
		必修「医学特殊研究」(2単位)		
		必修「医学特別演習」(5単位)		
専門科目	専門科目	必修「生命システム医学概論」(1単位) 必修「疾患制御医学特殊研究」(2単位) (所属する専攻の科目を履修すること)	1～2	}
	がんプロ必修科目 (e-learning)	必修「がんの基盤的知識」(2単位)	8	
		必修「総論:臨床腫瘍学」(1単位)		
		必修「各論:臨床腫瘍学」(1単位)		
		必修「臨床研究と統計学」(1単位)		
		必修「がんと倫理」(1単位)		
		必修「精神腫瘍学・社会腫瘍学」(1単位)		
	がんプロコース別総論 (e-learning)	コース別総論必修「がんゲノム医療」(1単位)	1～(注2)	
		コース別総論必修「小児・AYA世代・希少がん」(1単位)		
		コース別総論必修「ライフステージに応じたがん医療」(1単位)		
グループ選択必修科目(注3) (e-learning等)	所属するグループが定める選択必修科目を履修すること(別紙参照)	4～		
グループ選択科目(注4)	所属するグループが開設している選択科目を履修すること	4～		
修了単位数			30	

・標準的には2年次終了時まで、上表に基づき30単位以上を修得し、中間評価の合格を経て、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。(本プログラムで開設する必修科目、グループ選択科目、がんプロコース別総論必修科目は、主にコンピュータ上で受講するがんプロ専用eラーニングシステムを利用する。)

注1: 所定の手続きとは、通常のコンピュータ上(TWINS)での履修申請に加え、大学院教務へがんプロ教育コース履修申請書(専用用紙)を提出する事である(がんプロ専用eラーニング聴講用ID、パスワード発行のため)。その際に、上記がんプロ3コース(①～③)のうち、研究テーマに沿ったいずれかのコース所属を決めて届け出ること。

注2: がんプロコース別総論必修科目の3科目(「がんゲノム医療」、「小児・AYA世代・希少がん」、「ライフステージに応じたがん医療」)については、自身のコースに相当する1単位は必須とし、3科目を取得することを推奨する。

注3および注4: 専門科目(グループ選択必修科目およびグループ選択科目)については、自身の所属グループが求める科目を履修すること。

このプログラムは、本学独自のプログラムであり、プログラム修了者に人間総合科学研究科医学二専攻において『関東がん専門医療人養成プログラム修了認定書』を交付する。

各グループの選択必修科目について

グループ名	選択必修科目名（単位数）
放射線腫瘍学グループ	「臨床腫瘍学（放射線腫瘍学）講義及び実習」（4単位）
腫瘍外科学グループ	「臨床腫瘍学（外科系）講義及び実習」（4単位）
腫瘍内科学グループ	「臨床腫瘍学（内科系）講義及び実習」（4単位）
緩和医療・精神腫瘍学グループ	「緩和医療・精神腫瘍学講義及び実習」（4単位）
基礎腫瘍学グループ	「基礎腫瘍・がん医療開発講義及び実習」（4単位）
先端医療医学物理学指導者グループ	「基礎医学物理学」（6単位）
	「治療医学物理学」（6単位）
	「医学物理学総合実習」（4単位）
	16単位
腫瘍薬学グループ	「臨床腫瘍学（薬学系）講義及び実習」（4単位）

*グループとは自身が所属する研究室を意味する。